

ダニ、カビ、花粉アレルギーのワンちゃんへ

◆ 犬アトピー性皮膚炎

ダニ、カビ、花粉などが原因で起こる皮膚炎です。
症状は季節によって変化し、アレルゲンが飛散する時期にだけかゆみが出ます。

◆ 犬のアレルギー性気管支炎、アレルギー性鼻炎

ダニ、カビ、花粉などが原因で起こるアレルギー性呼吸器疾患です。
症状は季節によって変化し、アレルゲンが飛散する時期にだけ咳が出たり、鼻水やくしゃみが出ます。

◆ 検査結果から分かること

アレルゲン特異的IgE検査の結果で**要注意、陽性**のアレルゲンは、**原因**となっている可能性があります。

◆ どんな治療をするの？

アレルゲン物質に触れないように、**環境改善**をします。各アレルゲンの飛散には**季節性がある**ため、原因アレルゲンの飛散時期を把握して対策を行いましょう（各アレルゲンの飛散時期はアレルゲンの季節表をご参照ください）。アレルギー症状を抑えるために、お薬による治療が必要になることもあります。

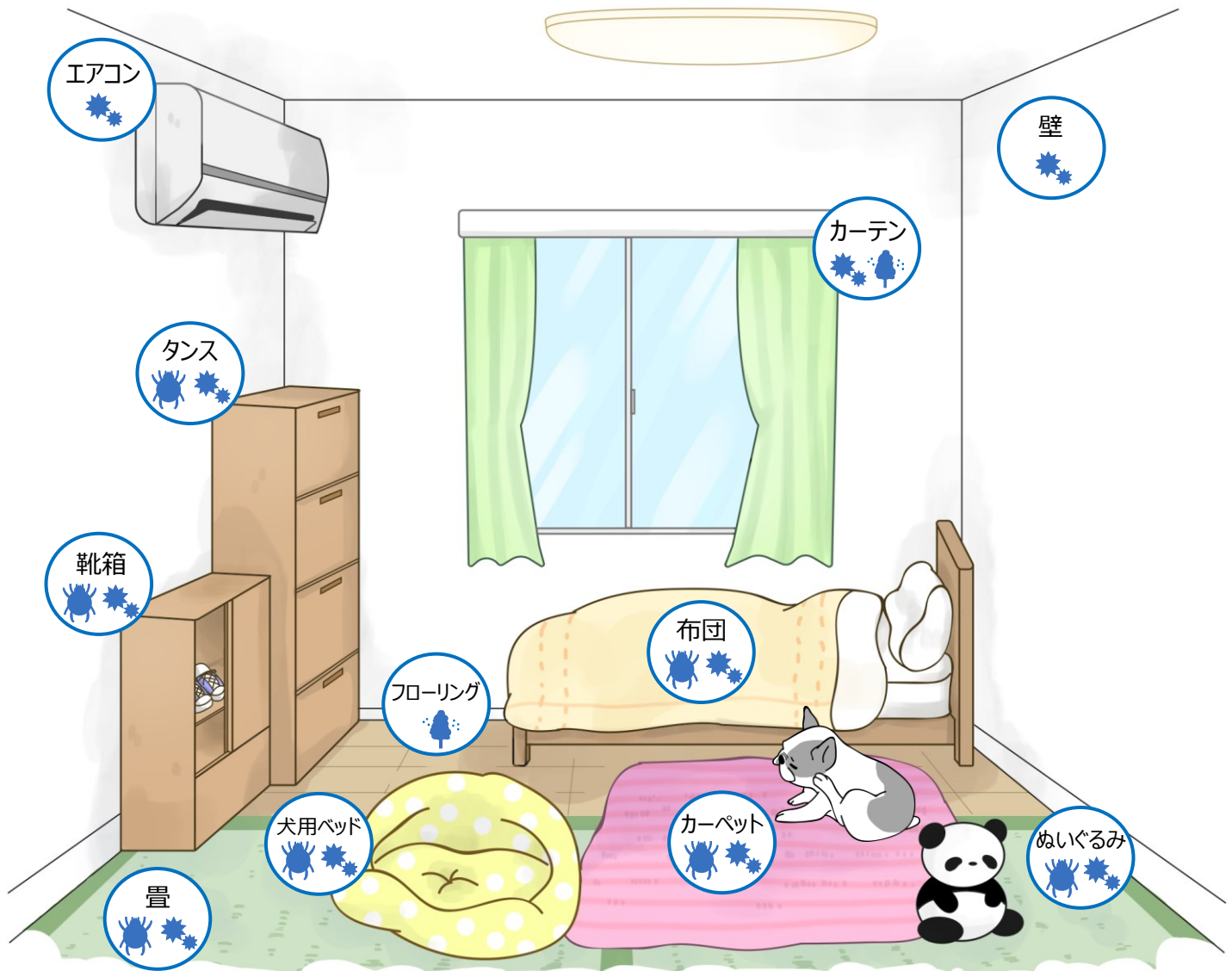
アレルゲンの季節表

月		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
節足動物	ヤケヒョウヒダニ												
	コナヒョウヒダニ												
	アシブトコナダニ												
	ノミ												
	蚊												
カビ	アスペルギルス												
	アルテルナリア												
	クラドスポリウム												
	ペニシリウム												
キク科植物	ヨモギ												
	オオブタクサ												
	アキノキリンソウ												
	タンポポ												
	フランスギク												
イネ科植物	カモガヤ												
	ハルガヤ												
	オオアワガエリ												
	ホソムギ												
	ギョウギシバ												
樹木	ニホンスギ												
	シラカンバ												
	ハンノキ												

表の色が付いている月は、各アレルゲンが飛散する時期、イラスト記載の月は、特に各アレルゲンの飛散が多い時期を示しています。

※室内微生物汚染 ダニ・カビ完全対策（小峯裕己、2007）、鼻アレルギー診療ガイドライン-通年性鼻炎と花粉症-2016年版（鼻アレルギー診療ガイドライン作成委員会、2016）、環境真菌と生態（高鳥浩介、2014）を元にして、動物アレルギー検査株式会社のアレルゲン特異的IgE値推移データ（2014～2016年）を追加して作成しました。ただし、アシブトコナダニは新規の検査項目であるため、先述の『室内微生物汚染 ダニ・カビ完全対策』を参考としました。

ダニ・カビ・花粉の多いところ



アレルゲン回避の対策、できることから始めよう！

※対策を始める前に各アレルゲンの飛散時期をオモテ面の季節表で確認しましょう。



ダニの対策

- ☐ こまめな換気の実施、エアコン除湿機能を利用し、湿度の調整をしましょう。
- ☐ 掃除機をかける際は、風通しをよくしましょう。
- ☐ 観葉植物や水槽など、室内の湿度が上がる要因になるものは、できるだけ室内に置かないようにしましょう。
- ☐ 空気清浄機を設置しましょう。



カビの対策

- ☐ 週に1回以上、寝具に掃除機をかけましょう。
- ☐ 天日干しをした布団には掃除機をかけましょう。
- ☐ 防ダニシーツ、防ダニ布団を活用しましょう。
- ☐ 犬や猫の使うベッドやぬいぐるみなどは3カ月に1回洗濯しましょう。
- ☐ エアコンフィルターを1回／2週間ほどの間隔で掃除しましょう。
- ☐ 窓や壁の結露はこまめに拭き取りましょう。
- ☐ カビの生えやす場所（台所、浴室、北側の部屋など）を把握し、掃除・除湿や換気をしましょう。



花粉の対策

- ☐ 晴天で風の強い日には外出を短時間にしましょう。
- ☐ 窓やドアの開閉は最低限にしましょう。
- ☐ 洗濯物は室内干し、または乾燥機を活用しましょう。
- ☐ 布団を外に干すことは避け、乾燥機などで代用しましょう。
- ☐ 散歩後は、ブラッシングやしっかり絞ったタオルや不織布などで体表に付着した花粉を取り除きましょう。
- ☐ 外出から帰ってきたら、衣類についた花粉を払いましょう。
- ☐ 空気清浄機を設置しましょう。

無理せずできることを継続して行うことが大切です。

